■ 組立完成図 ■

■ 仕様

材　質：鋼板、ステンレス鋼板
仕上げ：焼付塗装

■ ブロック設置方法 ■

平らでない地面に設置する場合は、ブロックなどを四隅に高さを揃えて置いてから本体を設置してください。
また、舗装された場所に設置する際もブロックなどで底上げして風通しを良くすると底板部のさびを防げます。
ブロックは、最寄りのホームセンターなどでお買い求めください。

■ 注意事項 ■

■組立て上の注意

⚠各部品の特徴、数量をご確認ください。
⚠組立てに支障のないような広い場所で組み立ててください。
⚠平らな場所で組み立ててください。
⚠組立て後の設置場所への移動は引きずらないでください。

■設置上の注意

⚠設置する場所は、水はけの良い所を選んでください。
⚠雨が直接当たらない場所に設置してください。
⚠水平に設置されない場合、全体にねじれなどが生じ、扉の開閉が出来ない原因になりますのでご注意ください。
⚠直接日の当たる場所に設置されますと、庫内の温度上昇により収納物を傷めるおそれがありますので、直接日の当たらない場所に設置してください。
⚠強風、地震等に備え、転倒防止に十分配慮してください。
⚠火気のそばに設置しないでください。

■使用上の注意

⚠収納庫以外の目的では使用しないでください。
⚠安全のため雪降ろしを行ってください。雪降ろしを行うときは、屋根に上がらず踏み台・脚立などを使って安全に行ってください。本体のまわりの雪も取り除いてください。
⚠設置場所を移動する場合は、必ず中の物を出してから行ってください。
⚠扉の開閉は必ず取っ手を持って行ってください。
⚠変形・破損等の状態で使用しないでください。
⚠収納物は確実に入れ、貴重品は収納しないでください。
⚠衣類や書類等の湿気に弱い物は、中に入れないでください。
⚠汚れがひどい時は、うすめた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないように水拭きした後、から拭きしてください。
⚠溶剤（シンナー・ベンジン）などは使用しないでください。
⚠鋼板製品は、キズが付くとその部分からさびが発生する事があります。早めにキズの部分に塗装を施し、こまめに補修されることをお勧めいたします。
⚠部品の表面仕上げには十分配慮しておりますが、長年ご使用いただくうちに、さびや劣化により中のものを傷めたり部品の破損や転倒等のおそれがありますので、定期的に点検してください。異常が認められた場合は早めの買替えをお勧めいたします。
⚠施錠の際は、お子様やペットなどが中にいないことを必ず確認してください。

■ステンレス部の注意

⚠ステンレスは絶対さびないのではなく、極めてさびにくい金属です。しかしステンレスの表面に付着したほこり・すす・ちり・鉄粉などをそのまま放置しておきますとさびの原因になりますので、濡れ布で汚れを拭き取ってください。油汚れは中性洗剤を使用し、その後濡れ布で拭き取ってください。
⚠付着した油脂類をとるためにシンナーを使用すると、表面の光沢を乱しますのでおやめください。
⚠ステンレスは塩素にとても弱いので、タイル洗浄剤や次亜塩素酸ソーダ（ブリーチ、ハイター等）や、苛性ソーダは使用しないでください。

製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

お願い

製品に不都合な点がありましたら、お手数でも弊社フリーダイヤルまでご連絡ください。
早速お取り替え等の対応をさせていただきます。

●ご不明な点がございましたら下記フリーダイヤル、グリーンライフ「お客様サービス係」までお問い合わせください。

受付時間▶9:00～17:00（土・日・祭日・夜間は留守番電話になります。）

株式会社グリーンライフ
本　社　新潟県三条市南四日町3-7-58
〒955-0852　TEL（0256）36-4001（代）
FAX（0256）36-4050
E-mail：niigata@greenlife-web.co.jp
URL:http://www.greenlife-web.co.jp

ABN-200 04

GREEN LIFE

家庭用収納庫
〈アーバン200型〉

取 扱 説 明 書

このたびは、家庭用収納庫アーバンをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。正しくお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みになり内容を理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。
なお、お読みになったあとも取扱説明書は大切に保管してください。

H

■ 部品内容 ■

●組立ての際は、⊕ドライバー・スパナをご用意ください。組立ては2人以上で行ってください。

部品の追加購入について 追加用の「棚板」は型式、「鍵」は鍵番号をご確認の上、ご購入された店舗でお取り寄せください。

ねじSET

種類	ライトグレー	メッキ	ステン
小ねじ	4（予備1本）	2	
フランジナット	4（予備1本）	2	
タッピンねじ	17（予備1本）	14	2
スプリングワッシャー		4	

㊟ ステンタッピンねじは地枠（ステンレス製）と同色です。
メッキタッピンねじと数量でも区別できます。
ライトグレーの各予備1本は、なくされた場合にご使用ください。

棚受金具 24ヶ

鍵2ヶ

転倒防止金具2ヶ

注意 底板側面の穴は組立てには使用しません。

棚板6枚

注意 棚板側面の穴は組立てには使用しません。

⚠注意

タッピンねじは、取付穴にねじ溝を作りながら締めるねじで、取付穴よりねじの方が大きくなっているため、**取り付ける際には力が必要です。**最初にタッピンねじを取付穴に軽く締め込み、徐々に力を入れて奥までしっかりと締め込んでください。タッピンねじを取り付ける際は、ドライバー先端の ⊕ 部分とタッピンねじの ⊕ 部分があうドライバーをお使いください。また、ドライバーの握り部分が太く長めのものをご使用された方が楽に取付けできます。

■ 使用上の禁止事項 ■

安全の為に必ずお守りください。
（⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。）

警告 この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠法令・規約を守り設置する。
集合住宅等のベランダに設置される場合、消防法上、仕切り板・避難ハッチ・消防隊進入口サッシ近くには、設置を避ける義務があります。設置にあたっては、管理組合にご相談ください。また、お子様が踏み台にして、転落しないように、十分ご注意ください。

⚠危険物・薬品・壊れ易い物・生き物を入れない。
思いがけない事故につながるおそれがあります。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠使用前にもう一度各部のねじ・ナットが締まっているか、各板・各枠にガタツキがないか確かめてからご使用ください。

⚠鋼板製ですので組立ての際にはケガなどしないよう手袋を着用してください。

⚠傾斜や凹凸のある場所には設置しないでください。

⚠天板の上に物を載せたり、上がったりしないでください。
本体の変形・破損・落下転倒のおそれがあります。

⚠鋼板製ですので、角部でお子様がケガなどしないよう設置場所には十分注意してください。

⚠手すりのそばに設置される場合は必ず壁面側に設置してください。
手すり側への設置は危険です。

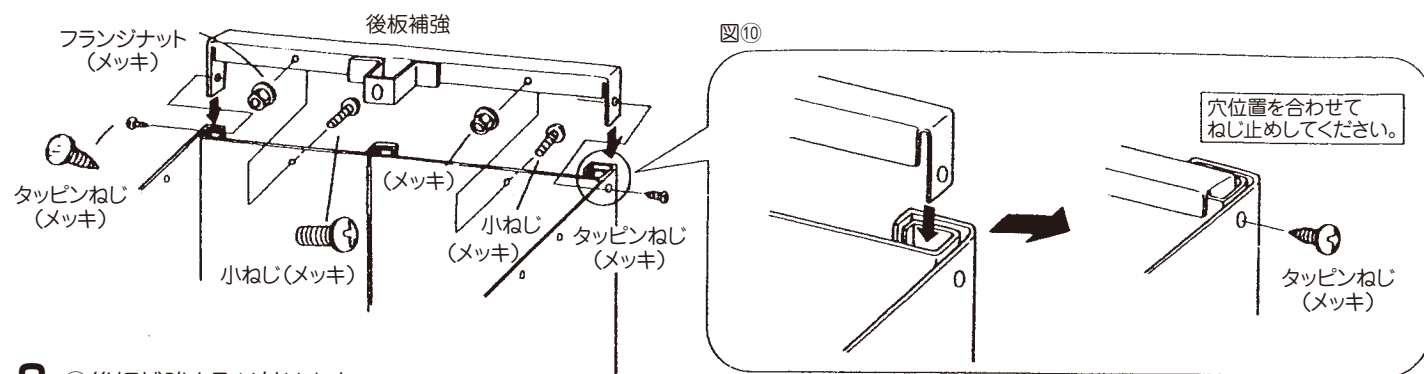
⚠崖のふちや風当りの強い場所等安全の確認ができない場所には設置しないでください。

⚠棚板には25kg以上の物を載せないようにしてください。

■組立説明書■〔アーバン・200型〕

部材は主に鋼板製ですので手を切らないように注意してください。
取扱いの際は必ず手袋を着用してください。

ウラ面に続きます。

〔後板補強の取付け〕

8 ①後板補強を取り付けます。
②側板と後板、後板補強をタッピンねじで止めて固定してください。（左右）（図⑩）
③後板と後板補強を2ヶ所小ねじとフランジナットで止めて固定してください。

〔センター枠の取付け〕

9 ①センター枠の中にエル金具が入るように上側から差し込みます。（図⑪）
②センター枠上側の穴は後板補強中央の穴に合わせます。（図⑫）
③上下それぞれ1ヶ所タッピンねじで止めて固定してください。

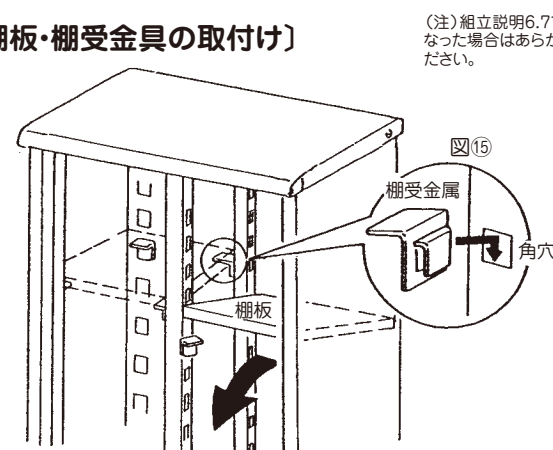
〔天板の取付け〕

10 ①天板の後側折り曲げ部分を側板、後板に沿わせながらはめ込みます。
②手前に引きながら前側をかぶせます。（図⑬）
③天板内側の左右2ヶ所ずつをタッピンねじ、スプリングワッシャーで止め固定してください。

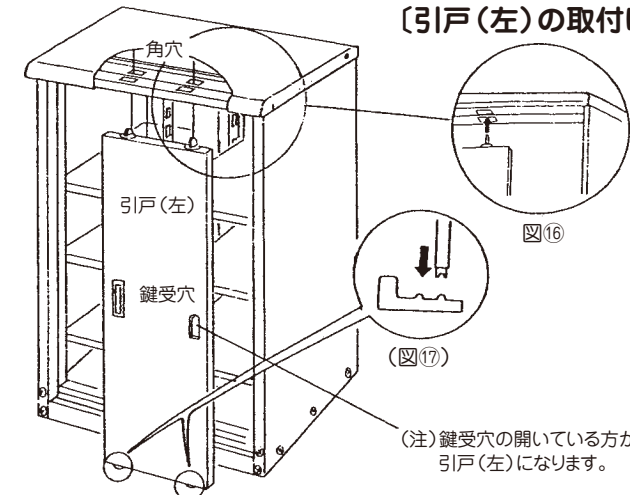
注）お客様のご使用の用途により天板の傾きを選べます。（図⑭）

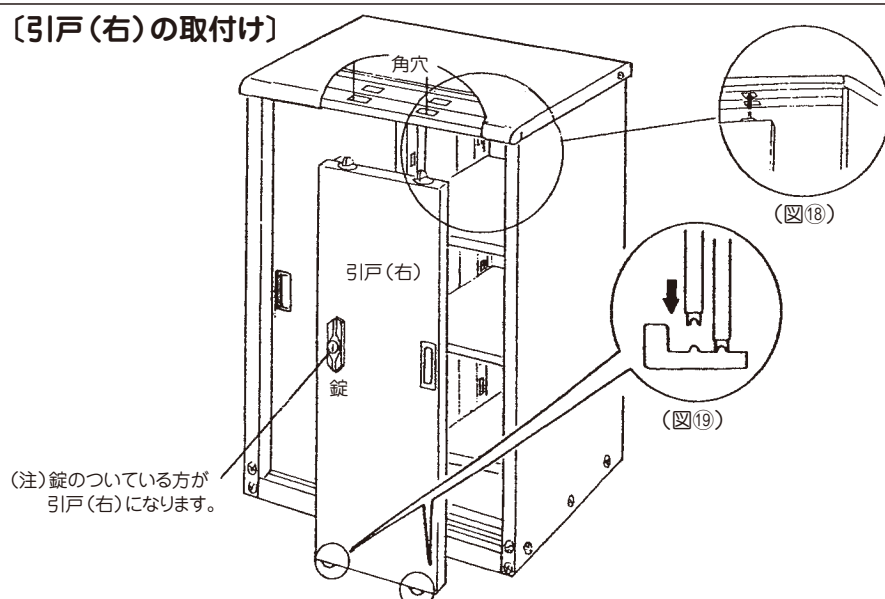
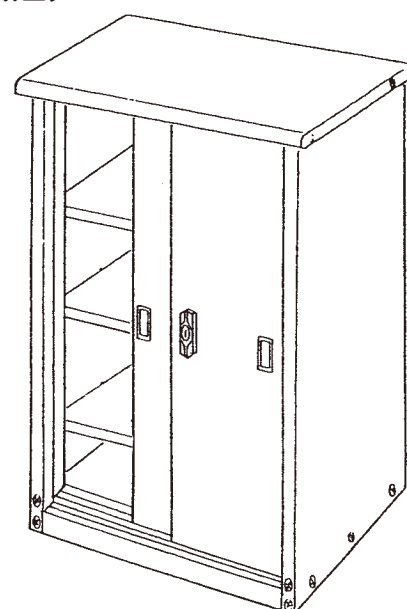
前上がり… ①と②の穴に天板の穴を合わせねじ止めしてください。
後上がり… Ⓐと Ⓑの穴に天板の穴を合わせねじ止めしてください。
水平……… ①とⒷ又は②とⒶどちらの穴でも可能です。

〔棚板・棚受金具の取付け〕

（注）組立説明6.7で棚板をご使用になった場合はあらかじめ取り外してください。

11 棚受金具4ヶを、使用目的によって高さ位置を決めてから角穴に取り付け（図⑮）、その上に、棚板をのせてください。（棚板1枚につき、棚受金具4ヶずつ使います。）棚板は傾けて入れた後、水平にしてください。

（注）棚板調整用の角穴18個です。

〔引戸（左）の取付け〕

12 ①引戸（左）の上側凸部を天枠奥の角穴に差し込みます。（図⑯）
②ステンレスレール奥の凸部と引戸（左）の戸車がかみ合うように取り付けてください。（図⑰）

〔引戸（右）の取付け〕

13 ①引戸（右）の上側凸部を天枠手前の角穴に差し込みます。（図⑱）
②ステンレスレール手前の凸部と引戸（右）の戸車がかみ合うように取り付けてください。（図⑲）

〔完成図〕

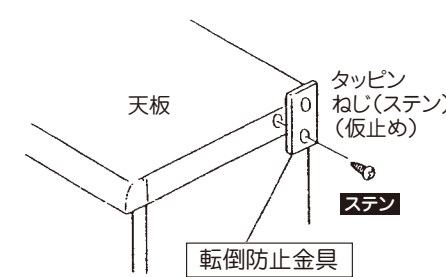
- 引戸をきちんと閉めた事を確認してから施錠してください。（きちんと閉めてないと施錠できません。）
- このカギは1回転（360°）させると施錠、開錠が出来ます。（図⑳）
- 最後に施錠、開錠の確認をしてください。

お願い **〈転倒防止金具の取付け〉**

転倒防止の為、転倒防止金具は必ず取り付けてください。

転倒防止金具の取り付けがされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故や物的損害を招くおそれがあります。

【取付け方法】

転倒防止金具をタッピンねじ（ステン）で天板の側面に仮止めしてください。

【設置方法】

設置の際は、はり金を転倒防止金具に通してから壁などに接続し、仮止めしたねじをしっかりと止め、固定してください。
（本体側面と壁との間に十分な余裕がない場合はあらかじめねじをしっかり止めておいてください。）